

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

第23号(週報・月報合併号)

第23週(6月5日~6月11日)、月報5月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

—手足口病:海南、湯浅保健所管内で警報レベル!!—

手足口病は、口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症で子どもを中心に、主に夏に流行する感染症です。

今週の和歌山県全体定点当たり患者報告数は1.77人(前週:1.07人)と増加し、過去5年間の同時期に比べやや多い状況です。

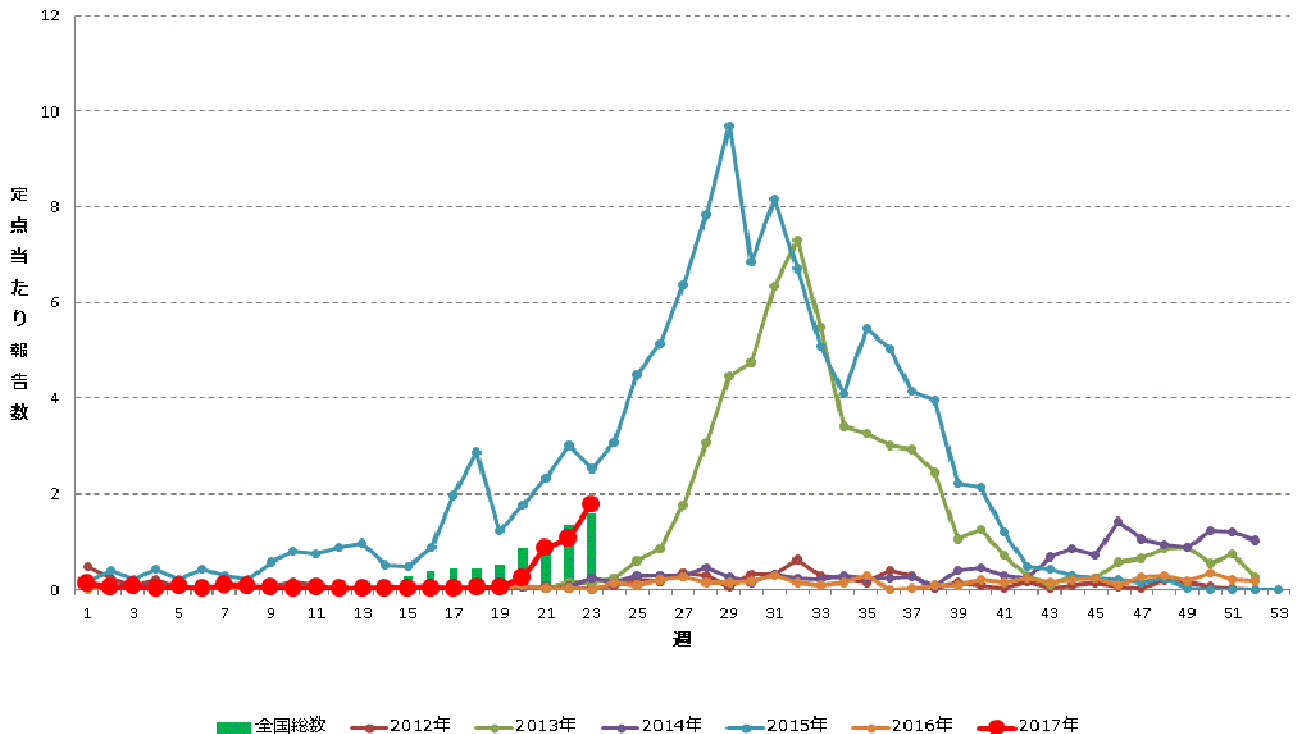
保健所別では、湯浅保健所管内が7.50人(前週:4.00人)と増加し、警報レベルとなっています。また、海南保健所管内が2.00人(前週:2.50人)と減少しましたが、警報レベル終息基準値を下回っていないため警報レベルが継続しています。

この疾病の感染経路は、飛沫感染、接触感染及び糞口感染です。感染予防のために流水と石けんで十分に手洗いを行い、タオルの共用は避けてください。

手足口病に関する説明はこちら:(国立感染症研究所HP)

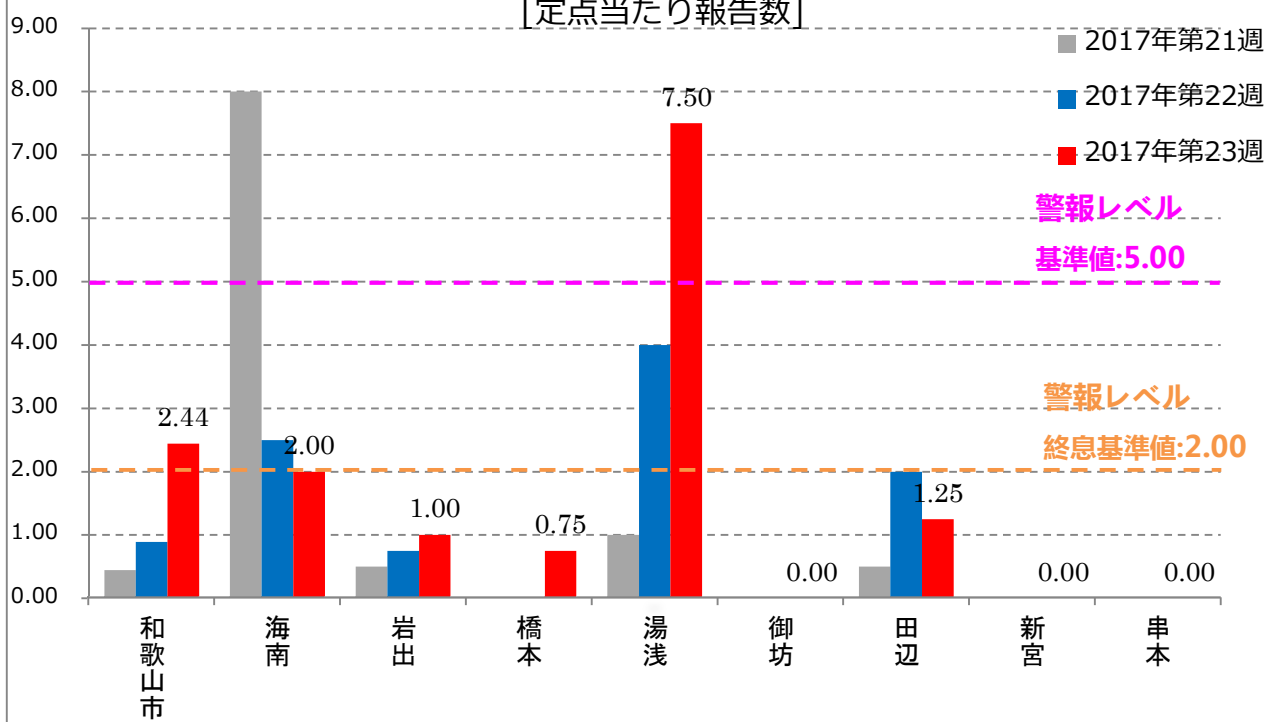
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/441-hfmd.html>

手足口病(和歌山県感染症情報センター)
定点当たり報告数グラフ



手足口病-管内集計区分別

[定点当たり報告数]



－ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：患者報告数は増加。－

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、A群溶血性レンサ球菌による上気道感染症で、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴う細菌性の感染症です。

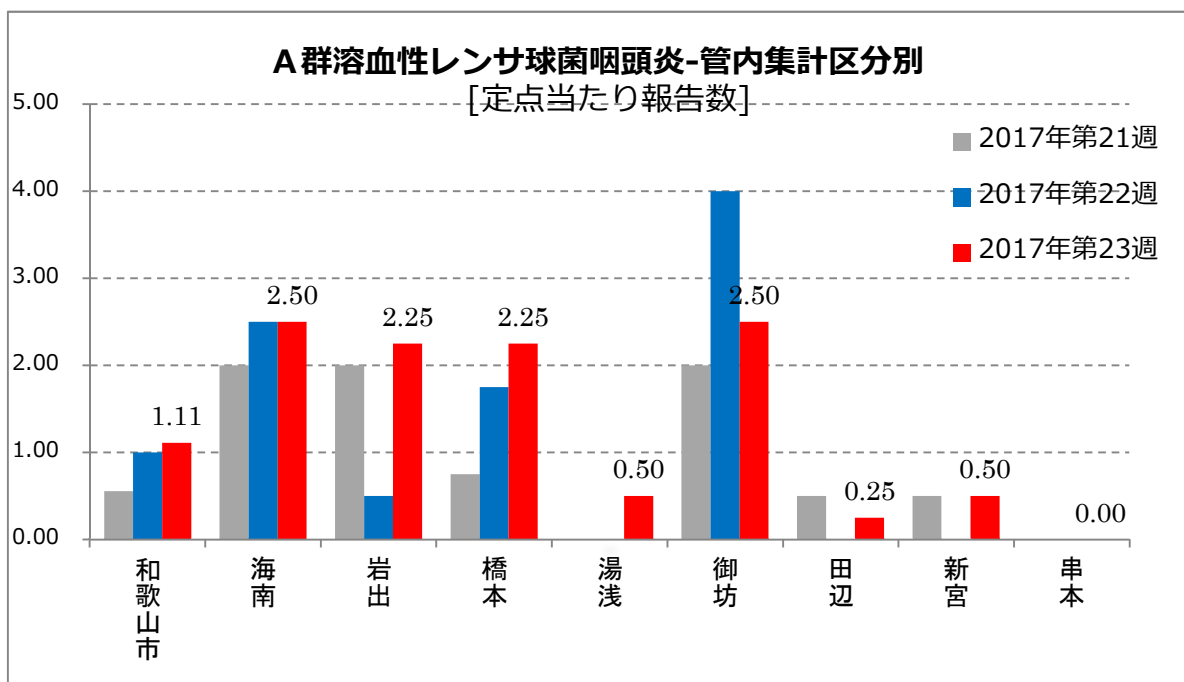
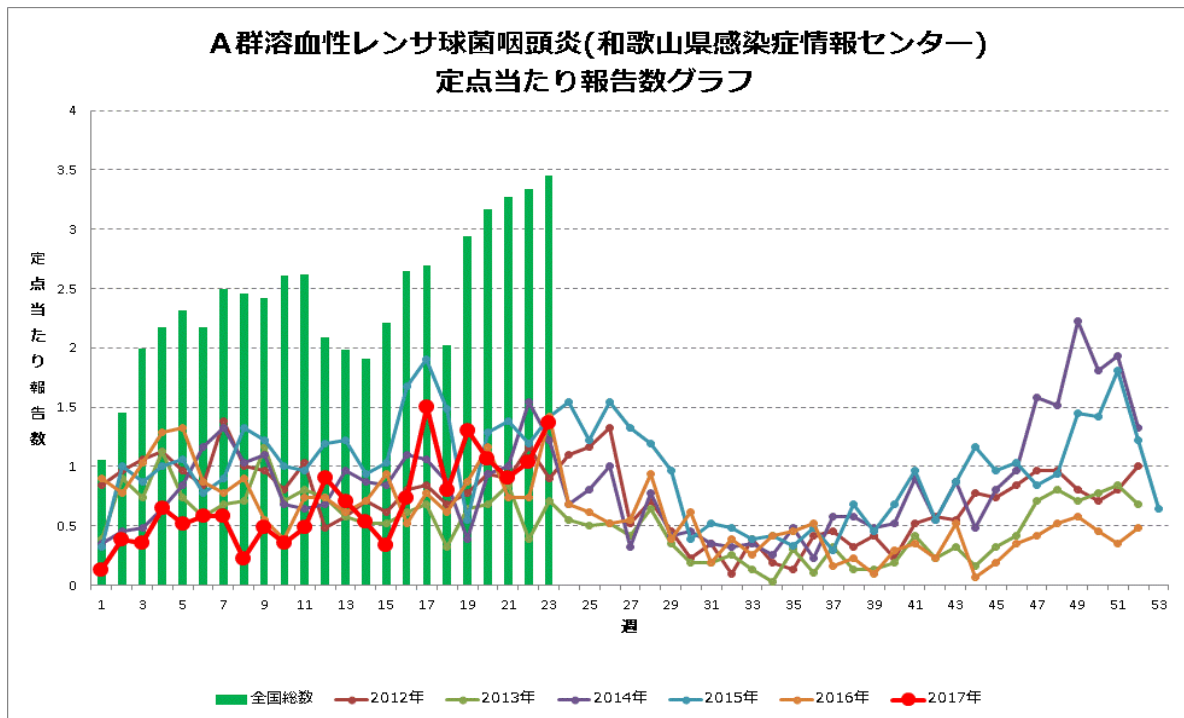
和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、1.37人（前週：1.03人）と増加し、過去5年間の同時期と比べやや多い状況です。

保健所別では、海南保健所管内が2.50人（前週：2.50人）、御坊保健所管内が2.50人（前週：4.00人）と最も多くなっています。

全国の定点当たりの患者報告数は3.45人（前週：3.34人）と増加しています。

主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、手洗い、うがいを徹底し、感染者とのタオルの共有は避ける等、予防に努めましょう。また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に関する説明はこちら：(国立感染症研究所HP)
<http://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html>



－咽頭結膜熱：過去5年間の同時期に比べやや多い。－

咽頭結膜熱は発熱、咽頭炎、眼症状を主とするアデノウイルスによる小児の急性ウイルス性感染症です。夏に流行し、プールでの感染も多く見られることからプール熱とも呼ばれています。

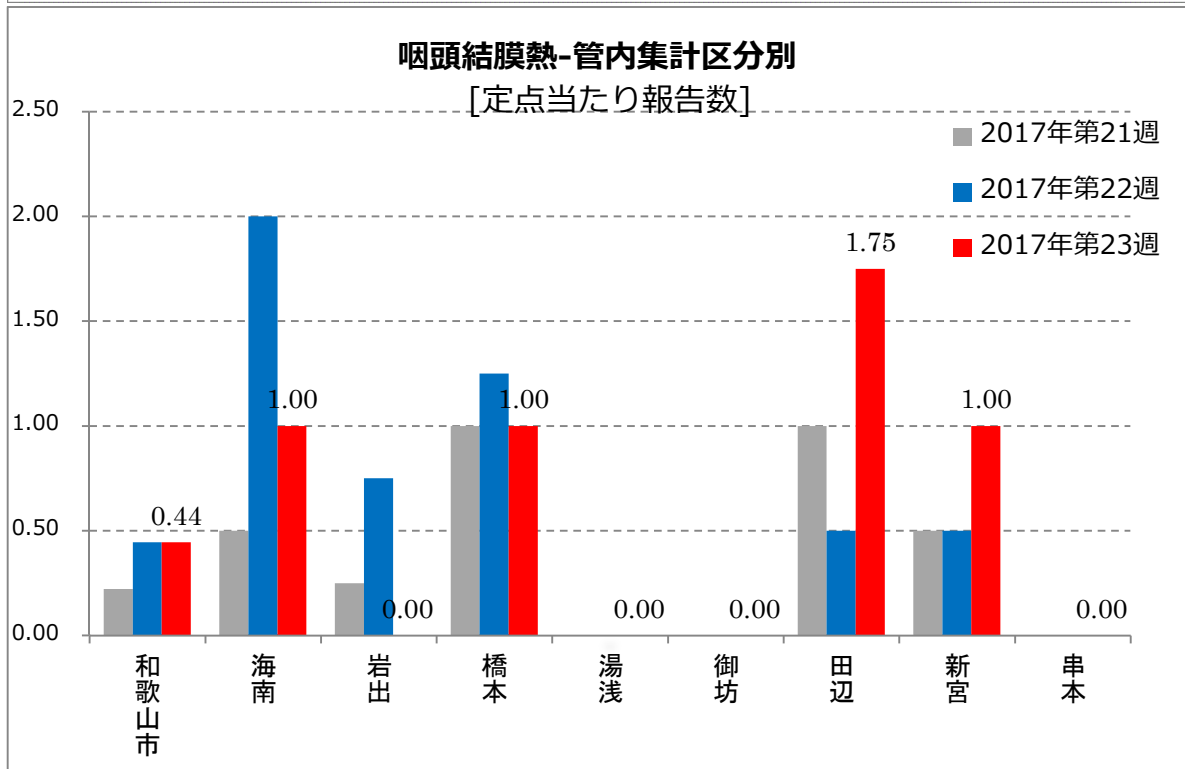
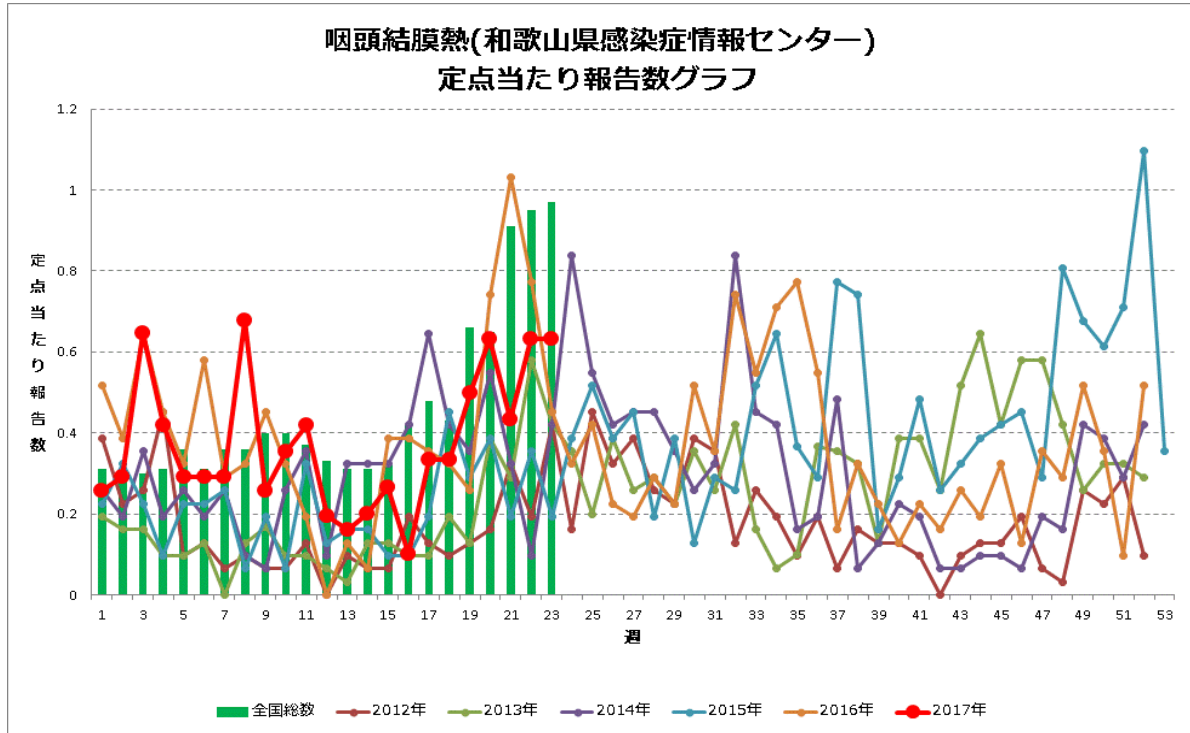
和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、0.63人（前週：0.63人）となっており、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。

保健所別では、田辺保健所管内で1.75人（前週：0.50人）と最も多くなっています。

感染経路は、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染であることから、感染者のタオルの共用を避け、うがいや手洗いをしっかりとすることが大切です。

アデノウイルスに関する説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/2110-disease-based/a/adeno-pcf/idsc/4th/4325-adeno-virus-p age.html>)



定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

(1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 2名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：日本紅斑熱 2名
- 5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1名

(2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	73
腸管出血性大腸菌感染症	4
A型肝炎	1
つつが虫病	2
日本紅斑熱	6
レジオネラ症	4
アメーバ赤痢	1
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4
急性脳炎	2
クリプトスポリジウム症	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4
後天性免疫不全症候群	2
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1
侵襲性肺炎球菌感染症	11
梅毒	10
播種性クリプトコックス症	1
破傷風	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1

◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

手足口病（海南、湯浅保健所管内）

注意報レベル

ありません。

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	5	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.17	-	0.03	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	19	-	2	5	4	2	1	3	1	1	-	-	-	-	-
	定当	0.63	-	0.07	0.17	0.13	0.07	0.03	0.1	0.03	0.03	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	41	-	-	-	1	5	6	3	9	7	3	3	4	-	-
	定当	1.37	-	-	-	0.03	0.17	0.2	0.1	0.3	0.23	0.1	0.1	0.13	-	-
感染性胃腸炎	報告	148	3	9	26	18	12	26	8	12	8	3	6	15	-	2
	定当	4.93	0.1	0.3	0.87	0.6	0.4	0.87	0.27	0.4	0.27	0.1	0.2	0.5	-	0.07
水痘	報告	21	-	-	1	1	-	-	1	1	10	1	2	4	-	-
	定当	0.7	-	-	0.03	0.03	-	-	0.03	0.03	0.33	0.03	0.07	0.13	-	-
手足口病	報告	53	-	3	35	6	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	1.77	-	0.1	1.17	0.2	0.23	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	17	-	7	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.57	-	0.23	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	10	-	-	2	1	3	2	1	-	-	1	-	-	-	-
	定当	0.33	-	-	0.07	0.03	0.1	0.07	0.03	-	-	0.03	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	34	-	-	2	1	4	6	2	8	5	4	1	1	-	-
	定当	1.13	-	-	0.07	0.03	0.13	0.2	0.07	0.27	0.17	0.13	0.03	0.03	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	4	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.44	0.5	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	4	2	-	4	-	-	7	2	-
	定当	0.44	1	-	1	-	-	1.75	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	10	5	9	9	1	5	1	1	-
	定当	1.11	2.5	2.25	2.25	0.5	2.5	0.25	0.5	-
感染性胃腸炎	報告	77	23	22	4	3	11	4	4	-
	定当	8.56	11.5	5.5	1	1.5	5.5	1	2	-
水痘	報告	7	1	1	2	1	-	9	-	-
	定当	0.78	0.5	0.25	0.5	0.5	-	2.25	-	-
手足口病	報告	22	4	4	3	15	-	5	-	-
	定当	2.44	2	1	0.75	7.5	-	1.25	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	9	2	4	1	-	-	-	1	-
	定当	1	1	1	0.25	-	-	-	0.5	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	2	2	2	1	-	2	1	-	-
	定当	0.22	1	0.5	0.25	-	1	0.25	-	-
流行性耳下腺炎	報告	19	-	7	4	4	-	-	-	-
	定当	2.11	-	1.75	1	2	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	2	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	2	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	1	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	0.5	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	1	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	0.33	…	-	-	-	-	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	1	…	-	-	-	-	2	-	…
	定当	0.33	…	-	-	-	-	1	-	…

<院内感染症の動向>

5月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が1.82人(先月：1.27人)となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約55%となっています。

【5月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	1	11
	定当	1.82	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18	0.55	0.09	1
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09

和歌山県感染症報告 (WIDR) 2017 年第 23 号

発行日：平成 29 年 6 月 15 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意下さい。